

農山漁村発イノベーション事例集



令和2年12月

MAFF

コンセプト

【趣旨】

農山漁村には、農林水産物、農地・農業用水、自然環境、動植物、景観、伝統文化等のさまざまな地域資源があり、農林水産省では、これらを活用した6次産業化、農泊、農福連携、ジビエの利活用など、主に1次産業を起点とした取組を推進してきたところです。

今後は、健康医療、スポーツ、芸術など、1次産業以外の他産業を起点とした新たなビジネス展開も含めて促進すべく、「農山漁村発イノベーション」の推進に取り組んでいくこととしています。

【農山漁村発イノベーションとは】

人口減少が進む農山漁村において、所得と雇用機会を確保するため、農山漁村を舞台に、活用可能な地域資源を発掘し、磨き上げた上で、他分野と組み合わせることにより、新たな価値を創出する取組のこと。

【構成】

農山漁村発イノベーションの結果、所得と雇用機会の確保を実現し、移住・定住にも寄与している事例等を主に取り上げ、経時的な一連の取組のプロセス（一部）もあわせて整理しました。

※ 主に団体の取組としては、ビジネス部門、コミュニティ部門、両部門かで分類。

※ イノベーションの概念のとらえ方は必ずしも一元的ではなく、現時点で認識されていない新たな事例が大小を問わず今後創出されていくことを期待しています。こうしたことも踏まえて、今回の収集は第1弾とし、今後、適宜追加・改訂していくことを予定しています。

概要

事例団体（ブロック別）

北海道	3 団体
東 北	1 0 団体
関 東	1 2 団体
北 陸	1 1 団体
東 海	1 2 団体
近 畿	1 5 団体
中 四	1 4 団体
九 州	1 4 団体
沖 縄	2 団体
合計	9 3 団体

取組部門

ビジネス	2 9 団体
コミュニティ	3 8 団体
ビジネス及び コミュニティ	2 6 団体
合計	9 3 団体

分野の組合せ

	農業	林業	水産業
食品	5 6 団体	2 団体	2 団体
ジビエ・鳥獣	7 団体	1 団体	
観光	4 0 団体	5 団体	3 団体
福祉	2 1 団体	1 団体	
教育	2 1 団体	2 団体	1 団体
移住・定住	7 団体	—	—
生物多様性	2 団体	—	—
環境	1 団体	—	—
エネルギー	4 団体	1 団体	—
健康医療	5 団体	1 団体	—
スポーツ	2 団体	1 団体	—
芸術・文化	3 団体	—	—
歴史・文化	2 団体	1 団体	1 団体
情報通信	6 団体	—	1 団体
合計	1 7 7 団体	1 5 団体	8 団体

目次

整理番号	団体名	所在地	取組概要	取組部門		分野の組合せ(農山漁村×)																	活用している資源	スタートした取組			
				ビジネス	コミュニティ	個人	農業	林業	水産業	食品	ジビエ・鳥獣	観光	福祉	教育	移住・定住	生物多様性	環境	エネルギー	健康・医療	スポーツ	芸術・文化	歴史・文化		情報通信	農林水産業	その他	
1	鹿追町農泊推進協議会	北海道鹿追町	空き家をリノベーションして、交流拠点施設を整備。地域の農泊の拠点・窓口として機能。春夏秋冬・季節ごとの魅力をツアー企画として商品化。農泊をビジネスとして自立した運営を目指す。	○	○		○					○												農畜産物、空き家、大自然(国立公園、ジオパーク、森、湖、川、平原、雪)		○	
2	株式会社九神ファームめむろ	北海道芽室町	就労継続支援A型事業所を平成25年4月から運営。知的・精神障害を持つ利用者が通年で野菜の生産やジャガイモ等の一次加工、コミュニティレストランの調理や接客に従事し、安定した高賃金を実現。	○			○			○			○												農林水産物、農地		○
3	今金町山村活性化地域協議会	北海道瀬棚郡今金町	規格外野菜を活用した特産品開発。障がい者雇用や地域活性化に向けたまちづくり会社を設立。	○	○		○			○			○												規格外野菜、観光資源	○	
4	社会福祉法人 誠友会	青森県おいらせ町	2006年、障がい者の活躍・雇用の場として地域の基盤産業である農業に参入。温泉の廃跡を活用した熱帯果樹のハウス栽培に取り組み。連年夏の観光農園を実現。現在では「農業、福祉、地域、観光」をつなぎ合わせた事業として地域の交流拠点となっている。	○	○		○			○		○	○												観光農園アグリのレストラン(もち小麦、いちご)、熱帯果樹園(バナナ、パパイア)、工房あぐりの里、農家レストラン「百果良彩」	○	○
5	八幡平ファームステイ協議会	岩手県八幡平市	2018年、体験プログラム提供などを通じた食と農業のブランド化を目的として発足。「持続可能な農業」と「大地の再生」を基本的なコンセプトに据え、「サステナビリティ社会の実現」と「人々が集う場づくり」を同時に成し遂げることをビジョンとして活動に取組む。	○	○		○			○		○	○												豊かなアウトドア資源		○
6	二戸市	岩手県二戸市	2017年、漆原木の資源調査、計画的な植栽、適切な管理方法等の検証を行い、漆の安定供給に向けた取組を実施。	○			○	○																	漆	○	
7	高松第三行政区ふるさと地域協議会	岩手県花巻市高松	2011年、遊休農地を活用し、農業体験を通した高齢者、障がい者、子どもの交流を目的とした「福祉農園」を設置。福祉農園を中心に、地域ぐるみで特産物の生産、加工、販売や農観形成活動、高齢者の生活支援などの取組み	○	○		○			○			○												遊休農地を活用した福祉農園	○	○
8	社会福祉法人 大洋会	岩手県大船渡市	2014年、地域住民と施設利用者(障がい者)の交流を通じ、地域の活性化や利用者の地域交流の場を確保、体力向上や維持を目的に農産物の栽培を開始。2020年遊休農地を活用し、障がい者の働く場(工賃向上)と地域交流の場の確保を目的に観光農園を開始。	○	○		○			○		○	○	○					○						遊休農地	○	○
9	蔵王農泊振興協議会	宮城県蔵王町	「蔵王福祉の森構想」の取組により、蔵王への定住化・観光・農業振興など多様なメニューを具体化。インバウンドを含め広域から旅行客を募集し、地域の経済発展のための体制、マーケティングの強化に向けて取組む。	○	○		○					○													温泉水、水、間伐材		○
10	一般社団法人仙北市農山村体験推進協議会	秋田県仙北市	2018年、国家戦略特区を活用して国内旅行業務取扱管理者資格及び地域限定の旅行業を取得し、旅行業者としてワンストップサービスの体制を構築。国内外の個人旅行観光客への対応と所得向上を目指し、情報発信や情報収集について、独自の事業展開を実施。	○	○		○					○													自然(田沢湖)、歴史・文化(武家屋敷)、郷土料理(きりたんぽ)など		○
11	十二所・長木地区山村活性化協議会	秋田県大館市	地域内に多く自生している山菜(フキ、タケノコ等)、山野草を活用して加工品や薬膳料理の開発に取り組み、女子栄養大学や料理講師など専門家の指導を受けながら、知識の習得、技術の向上を図る。	○			○			○															山菜	○	
12	山形県白鷹町日本の虹(あか)をつくる町連携推進本部	山形県白鷹町	虹花にちなんだ「虹(あか)」をテーマとしたブランド化と、質の高い一次加工品の生産技術向上へ取組む。		○		○					○		○						○					虹花	○	○
13	社会福祉法人 こころん	福島県泉崎村	2004年、NPO法人「こころネットワーク農市」を設立(2011年、社会福祉法人に移行)。精神障害を中心とする施設利用者が、メインとなる養鶏のほか野菜栽培、加工、販売所の運営などを通年で実施。一般就労へ向けての訓練や支援に取り組む。	○	○		○						○						○						遊休農地	○	○
14	十石堀維持管理協議会	茨城県北茨城市中郷町	江戸時代に建設された用水路(十石堀)は、地域住民主体で維持管理が行われてきた。維持管理を行う中で地域資源と捉える意識が醸成し、地域学習やエコツーリズム等を経て、令和元年9月、世界かんがい施設遺産に登録。		○									○											かんがい施設(十石堀)、自然、地質遺産		○
15	株式会社いちこの里ファーム	栃木県小山市大川島	平成11年に会社を設立。いちごの観光資源化を目指しいちご狩り開始。未収穫分は加工販売のほかレストランやカフェも併設し6次化を推進。更には就労継続支援事業により農福連携の取組。	○			○			○			○	○											農林水産物	○	
16	有限会社きたもっく	群馬県吾妻郡長野原町	平成6年、北軽井沢にキャンプ場をオープン。平成12年に有限会社設立。キャンプ場における地産木質エネルギーの循環活用を開始。通年の集客数確保と薪の自社生産により雇用の場を創出。	○			○			○			○						○						山林、農林水産物	○	
17	群馬県立利根実業高等学校 食品文化部	群馬県沼田市栄町	平成23年、沼田市の特産品を活用した商品「えだまもんち」を開発。イベント販売や学校給食への提供により地域活性化に貢献。市内の福祉施設に贈り物を依頼し、農福連携の取組も開始。		○		○			○			○	○											農林水産物	○	
18	お菓子な郷推進協議会	埼玉県秋父市	平成18年、秋父地域に自生するカエデに着目し、国産メープルシロップ事業を開始。樹液の採取、シロップ化(秋父カエデ糖)のほか、加工品の開発など、6次産業化と林商工連携によるお菓子創りを推進。	○			○	○		○															農林水産物(メープルシロップ)		○
19	きょなん株式会社	千葉県安房郡鋸南町吉浜	平成26年、地域活性化団体「ようこそ鋸南プロジェクト」を設立し、廃校利用の道の駅を拠点として交流活動を開始。平成29年、株式会社を設立し、農泊推進協議会を設立。クラフトビル醸造所を整備。	○						○															農林水産物、廃校		○
20	「(株)IT-FORESTRY」(神奈川県小田原市)	神奈川県小田原市	多様な森林活用を組み込んだ新しい森林経営を実践。	○				○				○							○						森林	○	

目次

整理番号	団体名	所在地	取組概要	取組部門			分野の組合せ(農山漁村×)																	活用している資源	スタートした取組	
				ビジネス	コミュニティ	個人	農業	林業	水産業	食品	ジビエ・鳥獣	観光	福祉	教育	移住・定住	生物多様性	環境	エネルギー	健康・医療	スポーツ	芸術・文化	歴史・文化	情報通信		農林水産業	その他
21	特定非営利活動法人 越後妻有里山協働機構	新潟県十日町市	女子サッカー選手など多様な人材による棚田保全、アートによる地域活性化、新たなライフスタイルの提案		○		○							○					○	○			棚田・農村集落	○		
22	あがの衆	新潟県阿賀野市	若手異業種の経営者と農家がそれぞれの経営資源を連携、お互いの課題解決を図ることによる地域振興。	○			○			○													農林水産物		○	
23	朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会	新潟県佐渡市	「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」(平成19年発足)を推進し、再びトキと共生する自然環境を田んぼを中心に作るとともに、佐渡米のブランド化を推進。		○		○								○								トキ	○		
24	上三光農村環境保全・清流の会	新潟県新発田市	地域資源を宝と捉え農業体験活動に取組み、耕作放棄地など資源の有効利用、集落環境の改善、獣害対策、集落再生と地域活性化を目指す。		○		○							○									農地、野生鳥獣、ビオトープ	○		
25	SAYS FARM	富山県水見市	魚問屋が耕作放棄地を再生し農園レストランとワイナリーを開発するなど、地域活性化に取組む。	○			○			○													農産物		○	
26	株式会社 富山環境整備	富山県富山市	最終処分場の跡地の有効活用、廃棄物由来の再生エネルギーの有効活用によるトマト等の周年栽培、循環型農業の実践。	○			○										○						廃棄物由来エネルギー		○	
27	劇団SCOT(富山県利賀芸術公園)	富山県南砺市(旧利賀村)	SCOT(旧早稲田小劇場)が、利賀村を演劇拠点として活動を開始。以来、利賀村は、世界的演劇の聖地として有名になり、交流人口の拡大等、演劇が地域振興に貢献。	○	○		○													○			利賀の自然、山村集落、農産物等		○	
28	(株)金沢大地・アジア農業(株)金沢農業(株)・(株)金沢ワイナリー	石川県金沢市及び鳳珠郡能登町	耕作放棄地を積極的に再生して、環境にやさしい有機農業を通じて地域の雇用創出、食料自給率向上、食料安全保障への貢献を目指す。	○						○													有機農作物、加工商品(みそ、ワイン等)	○		
29	能登ワイン株式会社	石川県鳳珠郡穴水町	「国営農地開発事業」の遊休地を再生して行うブドウ栽培と、能登の新しい特産品となるワイン製造・販売。	○										○									ブドウ畑・ワイナリー	○		
30	NPO法人ピアファーム	福井県あわら市	農業(ナシ・ブドウ栽培と農産物等の販売)に特化した就労継続B型事業とした農福連携の取組。	○	○		○			○													果樹園		○	
31	小原ECOプロジェクト	福井県勝山市	小原集落を拠点とし、都市住民との交流による地域活性化、自然資源の保全・保護等の取組。		○		○								○								農村景観	○		
32	特定非営利活動法人 山梨家並保存会	山梨県甲州市塩山	平成18年、山梨県全域の歴史的景観・建物の消失回避を目的にNPO法人を設立、調査を実施。活動を通して「上条集落」に出会い、保全活動を開始。現在、古民家の利活用による農泊施設を運営。		○									○									郷土食、古民家、自然景観		○	
33	帯那地域活性化推進協議会	山梨県甲府市上帯那町	平成16年、協議会を設立し棚田保全や耕作放棄地再生を開始。その後企業とのCSR協定に基づく活動を開始し、都市住民との交流が促進。平成30年には市営複合施設の管理者に指定され、売上と雇用創出に貢献。		○		○							○									農地(棚田)、農林水産物	○		
34	「しの町Woods-Life Community」他	長野県信濃町	森林セラピーを核にした「癒しの森事業」の展開と協定締結による企業誘致・受入。	○					○									○					森林		○	
35	有限会社鳥里 飛騨えごま本舗	岐阜県高山市	昭和48年、有限会社を設立。平成27年、飛騨えごま本舗を開発。「飛騨えごま」の栽培農家の増加と栽培面積の拡大を行いブランド化を図るため、えごま搾油所の開設と自社栽培を行うとともに、障害者や高齢者の雇用にも貢献。	○			○			○				○									農林水産物(えごま)	○		
36	就労継続支援A型事業所「それいゆ」	岐阜県関市	平成23年に株式会社DAIが設立した就労継続支援A型事業所。平成28年からサトイモ農業者の組合に加入し、岐阜県産の「円空里芋」を生産。また、組合員から手間のかかる調整作業を受託し、安定的な工資を確保。		○		○			○					○								農林水産物(サトイモ、ニンニク、サツマイモ、タマネギなど)		○	
37	NPO法人失矢作森林塾	岐阜県恵那市	平成18年に設立し、森林再生や人口減少対策といった地域の諸課題解決の向けて、地域環境の保全を担う森林管理部門と、地域の魅力発信を担う観光振興部門に区分した体制で各種活動に取り組む。		○				○					○									里山、木質資源、古民家	○		
38	株式会社飛騨の森でクマは語る	岐阜県飛騨市	平成27年設立の飛騨市が出資する第三セクター、通称「ヒダクマ」。これまで向き合っていなかった広葉樹を地域資源として安定かつ継続的にその価値を高め、商品として加工、流通。また、飛騨の匠の技を歴史・文化として発信。	○					○					○									農林水産物(木材)	○		
39	一般社団法人馬瀬地方自然公園づくり協議会	岐阜県下呂市	平成17年、下呂市合併後も地域の取り組みを継承するため任意組織を設立。平成元年に一般社団法人化。集落の野外を博物館に見立てた「里山ミュージアム」、馬瀬川の伝統漁法の観光ツアー化等の取組み。		○									○									農林水産物(米・鮎)、農村環境(自然・景観)	○	○	
40	伊豆市食肉加工センター「イズシカ問屋」	静岡県伊豆市	平成23年、伊豆市による公営ジビエ食肉加工施設「イズシカ問屋」を開発、有害鳥獣の食肉利用を開始。ジビエを市の新たな地域ブランドとして創出、地域の活性化を推進。	○			○							○									野生鳥獣(ニホンジカ、イノシシ)	○	○	

目次

整理番号	団体名	所在地	取組概要	取組部門			分野の組合せ(農山漁村×)																	活用している資源	スタートした取組	
				ビジネス	コミュニティ	個人	農業	林業	水産業	食品	加工・エビ・鳥獣	観光	福祉	教育	移住・定住	生物多様性	環境	エネルギー	健康・医療	スポーツ	芸術・文化	歴史・文化	情報通信		農林水産業	その他
41	特定非営利活動法人 せんがまち稲田倶楽部	静岡県菊川市	平成6年、任意団体を組織し消滅の危機にあった稲田の保全活動を開始。平成22年に法人化し、同時に稲田オーナー制度を導入。学生や企業との連携、女性の活躍により、来客数が大幅に増加。		○		○			○		○		○										稲田、農林水産物、自然景観	○	
42	有限会社みずほ農産	愛知県豊橋市	平成13年に水田農業を行う女性らで「TTL(豊橋耕作)レディース」を立ち上げ、女性目線での農作業に係る情報交換や、「未来につなげる農業」を合言葉に学校教育活動や消費者との交流を図る。	○			○			○				○										農林水産物(米)	○	
43	株式会社デリーフファーム	愛知県常滑市	平成3年、有限会社として設立し、平成31年に株式会社に組織改編。「たまごで人をしあわせに」を経営理念に、付加価値の高い卵を生産。うみたて卵の直売、加工品(洋菓子)販売及びたまご料理店を開店し、消費者へ提供。	○			○			○				○										農林水産物(卵)	○	
44	ミナミ産業株式会社	三重県四日市市	昭和26年、豆腐機械メーカーとして創業。地場産業の萬古焼きメーカーとの連携をきっかけに原料となる国産大豆の需要拡大に向けた活動を開始。農商工連携を推進し、6次産業化などの支援を通じて農業振興に取り組む。	○			○			○				○										農林水産物(大豆)		○
45	多機能型事業所(就労継続支援B型・生活介護)「八重田ファーム」	三重県松阪市	平成18年開所。平成28年多機能型事業所に移行。知的障害・精神障害を持つ施設利用者18名が、ハウスでのイチゴ栽培を中心とした農作業を通年で実施。平成30年にイチゴ生産でASIA GAP認証を取得。		○		○			○			○											農林水産物(イチゴ・ナバナ・金ゴマ・ニンニク・カボチャ等)	○	
46	海女小屋はちまんかまど 有限会社兵吉屋	三重県鳥羽市	昭和61年、有限会社を設立。平成16年から、野趣あふれる海女小屋で、海女が獲った鮑、サザエ等や海藻を味わい、現役海女の海女漁や生活についての語りを開き、地元の相違音頭を一緒に踊るなど、海女文化に触れる取組。	○				○	○	○		○								○				農林水産物(魚介)	○	
47	農村料理レストラン「せいの里まめや」	三重県多気町	平成15年に有限会社を設立。農村料理レストラン、加工所などで地元農産物を使用した料理や商品を生産するほか、大豆などを使った料理体験などを通じ、農村の文化や技術を伝承。	○	○		○			○				○										農林水産物(野菜と豆)	○	
48	株式会社小林農産	三重県明和町	平成23年に法人化。約300ha超の経営面積で主食用米を中心に加工用米やジャガイモを生産し、コメは百貨店やスーパー等に販売。付つき餅の生産販売など、6次産業化にも取り組む。	○			○			○												○		農林水産物(米)	○	
49	社会福祉法人 わたむきの里福祉会	滋賀県日野町	安全・安心な米づくりから地産地消へ、「美味しい米」で創造する新たな商品開発、そして、農業を通じた技術習得と就労機会の創出に取り組む。	○	○		○			○			○											農林水産物(水稻)	○	
50	有限会社古株牧場	滋賀県竜王町	部門間等の連携と乳製品の商品開発による“湖華舞”ブランドの確立とチーズ作り体験など食育を絡めた事業を展開。	○			○			○				○										畜産	○	
51	株式会社 みんなの奥永源寺	滋賀県東近江市	東近江ムラサキ紫線(支援)プロジェクトとして、「限界集落」の「耕作放棄地」を開墾し、「絶滅危惧種」の「紫草」の栽培と6次産業化による地域活性化に取り組む。	○	○		○			○									○					特用作物、耕作放棄地、絶滅危惧種		○
52	オムロン(株)草津事業所 滋賀県立湖南農業高等学校	滋賀県草津市	「フードリサイクルで究極の地産地消を！」をキャッチフレーズとして、社員食堂からでる生ゴミを堆肥化し、それを用いて野菜を育て再び食堂で提供するフードリサイクルに取り組む。		○		○			○				○										食品ロス		○
53	さんさん山城	京都府京田辺市	聴覚障害者やひきこもり経験者等が宇治茶の手揉みやエビイモの手揉りなど高品質な京都の伝統野菜の生産と加工作業を通年で従事しており、農福連携の普及啓発に取り組む。		○		○			○			○											茶、エビイモ	○	
54	農業生産法人こと京都株式会社	京都府京都市	京野菜のなかでも周年栽培可能な「九条ねぎ」に特化した生産と多様な販路の開拓に取り組む	○			○			○														農林水産物	○	
55	岸和田臨海地区地域水産業再生委員会	大阪府岸和田市	大阪湾の鮮魚は和歌山や兵庫等の市場価格(主に「鰯り」)よりも常に安値であり、魚価の向上が課題であった。大阪府都市圏漁業協同組合、岸和田市、大阪府が取組を推進し、デジタル化による事務効率向上と、魚価向上を達成。	○					○													○		シラス、マイワシ、サワラ、スズキ等の「泉州プレミアム鮮魚」	○	
56	農事組合法人かなん	大阪府河内町	平成16年に設立された農事組合法人が多様な取組を通じて地産地消や食農教育を進める。		○		○							○										町内産農産物、教育機関		○
57	カシモワインフード株式会社	大阪府柏原市	西日本一古いワイナリーが都市住民や企業との連携により伝統ある大阪ぶどう産地の活性化を通じ、伝統ある農山漁村の次世代への継承に取り組む。	○	○		○			○														農地、ワイン	○	
58	家島諸島都市漁村交流推進協議会	兵庫県姫路市家島諸島	家島諸島では、2000年代に、基幹産業の海運業、採石業の低迷から、地域資源を活用した新たな産業として観光業に取組を開始。家島諸島4島は「清泊推進会議」を設置し、日帰り型観光から宿泊型観光(清泊)への取組に向けた受入体制を整備。	○					○															日帰り型観光や宿泊型観光(清泊)		○
59	兵庫県 豊岡市	兵庫県豊岡市	「コウノトリも、人も」をキーワードにして、コウノトリも住める豊かな自然環境と文化環境の再構築を目指して、湿地環境の保全再生活動や「コウノトリ育む農業」に取り組む。	○	○		○									○								コウノトリ、農林水産物(水稻)		○
60	一般社団法人吉野かわかみ社中	奈良県川上村	500年の歴史ある吉野林業を今後も引き継いでいくため、持続可能な森林づくりと木材需要の拡大に取り組む。	○				○														○		森林	○	

目次

整理番号	団体名	所在地	取組概要	取組部門			分野の組合せ(農山漁村×)																	活用している資源	スタートした取組	
				ビジネス	コミュニティ	個人	農業	林業	水産業	食品	ジビエ・鳥獣	観光	福祉	教育	移住・定住	生物多様性	環境	エネルギー	健康・医療	スポーツ	芸術・文化	歴史・文化	情報通信		農林水産業	その他
61	株式会社 早和栗樹園	和歌山県有田市	昭和54年に7戸のみかん農家で創業し、当初はみかん生産のみであったが、近年は生産から加工、販売まで一貫して行う6次産業で「みかん1個の価値」を高める取組を実施し、中山間地域での雇用の場を創出。	○			○			○		○												農林水産物、農地、自然	○	
62	株式会社 秋津野	和歌山県田辺市	産校を活用した農業レストラン、宿泊施設や貸し農園などを開設し、都市農村交流を図るとともに、訪日外国人を含む滞在型の旅行誘客にも取り組む。	○	○		○					○											○	農林水産物、農校	○	
63	紀の里農業協同組合	和歌山県紀の川市	食と農に深く関わるJAとして、直売施設を拠点に都市と農村の交流事業を展開し、命を育む食の重要性とそれらを生み出す農業の果たす役割を伝える。	○	○		○			○		○												農林水産物、直売所	○	
64	NPO法人いんしゅう産野まちづくり協議会	鳥取県鳥取市	子供達が帰ってきたい住み続けたいと思う町となるよう、次の世代に継承できる魅力あるまちづくり。空き家、耕作放棄地も活かした地域資源を活用し、イノベーション創出。	○	○		○								○									空き家、景観、まちなみ、耕作放棄地、文化・歴史		○
65	えーひだカンパニー株式会社	鳥根県安来市	少子高齢化等による地区存続の危機感から、地区機能維持の仕組みを作るため88歳の戦時プランからなる比田ビジョンを策定。平成29年に、ビジョン実現のための地域住民を構成員としたえーひだカンパニー株式会社を設立。		○		○			○					○								○	米、小麦、そば、地場産野菜	○	
66	株式会社おおち山くら	鳥根県邑智郡美郷町	匠介者であったイノシを地域振興の視点で捉え、農家自ら狩猟免許を取得し、加工処理・ジビエ販売を担う組織として前身の「おおち山くら生産者組合」を設立。平成29年に更なる体制強化のための株式会社化。	○			○				○													イノシシ		○
67	(有)スコレー、順天堂大池	岡山県岡山市	農作業のストレス軽減効果を見える化した、農業セラピー(アグリヒーリング)の新ビジネス創出を構想	○			○												○					農園	○	
68	エーゼロ(株)	岡山県西栗倉村	人と自然をテーマとする地域総合商社として、起業人材の育成、森林ブランドの林水産物販売、福祉事業等を展開。	○	○			○		○	○		○	○										森林、うなぎ、ジビエ	○	
69	真庭バイオマス産業都市推進協議会	岡山県真庭市	木質バイオマスを核として、豊富で多様なバイオマスエネルギー利用、バイオマス産業観光・学習推進による地域ブランドの向上。	○	○			○										○						バイオマス	○	
70	あば村運営協議会	岡山県津山市	115年余り続いた「阿波村」は、平成17年の合併によりその歴史に幕を閉じた。合併後は人口が急減、住民自治協議会事業のモデル地区指定を受け取組を開始。自然・暮らしを後世に引継ぐ決意として「あば村宣言」発表。		○		○			○					○									農林水産物、森林、農校、古民家・空き家、文化・歴史、景観、バイオマス、自然(山、川など)		○
71	震掛地区コミュニティ協議会	岡山県瀬戸内市	近隣の小学校が閉校し、過疎化・高齢化傾向が一層急激な状況に。新たな行事や各種農業施策を模索するなか、地域おこし協力隊などの協力により外部視点を取り入れ、移住者増を目的に振えた村おこし活動を開始。		○		○								○									農林水産物、文化・歴史		○
72	川西自治連合会	広島県三次市	人口減少とともに産業は衰退、買い物する場所さえもなくなっていた。地域の将来をどうデザインすれば誇りを持ち住民が安心して暮らせるかが最優先課題となり、ビジョン策定委員会を立ち上げ地域の将来像を住民自ら描いていった。		○		○								○									川西郷の駅		○
73	大崎上島海主体験交流協議会	広島県豊田郡大崎上島町	高齢化・過疎化問題の対応として、体験交流型観光を推進し、都市の学生と島の住民が交流を深め、地域の活性化や経済効果に貢献することを目指し協議会を設立。		○		○		○			○		○										伝統文化、漁業、農業、アウトドア、伝統工芸		○
74	NPO法人加茂谷元気なまちづくり会	徳島県阿南市	主産業である農業の経営環境の悪化等により、若者は地域外へ流出。状況打破のため住民主導で取り組む夢のあるまちづくり実行計画を策定、農業や地域資源を活用しながらまちづくりを進めるための活動を開始。		○		○								○									移住・就農者用に、空き家・空き農地・空きハウスの斡旋、地域の農産物の販売支援		○
75	株式会社いろどり	徳島県勝浦郡上勝町	IoTシステムを活用して、料理を彩る葉っぱを出荷。女性や高齢者が活躍。	○			○																○	野山の季節の葉や花、山菜など		○
76	五名活性化協議会	香川県東かがわ市	高松市内商店街で五名地区を紹介する展示会への出展を契機に、特産品や加工品を販売する「ふるさとの家」の運営開始。五名小学校の閉校、JA、市役所等中心地が衰退していく中、平成25年小学校跡地利用検討と活性化のための協議会設立。		○		○				○													野生鳥獣、森林		○
77	地域協同組合無茶々園	愛媛県西予市	2004年(平成16年)、地域協同組合を設立。柑橘を中心に、加工品を含めたブランド化を推進。福祉事業等の多角化により女性が活躍する雇用の場を創出。	○	○		○			○			○											段々畑(農業遺産、文化的景観)、旧伊江小学校	○	
78	株式会社いとしのいとしま	福岡県糸島市	平成23年、「株式会社いとしのいとしま」を設立。SNS等を通して漁業が抱える課題を伝え、地魚BANKの会員から資金・アイデア等を集め、新サービスを生み出し課題を解決し、地魚の魅力伝える取り組みを展開。	○	○				○	○		○												地魚、漁業		○
79	すみやま棚田守る会	佐賀県伊万里市	平成14年、地元企業や学校との連携による地域活性化及びび心豊かな人材を育むことを目的に会を発足。棚田の保全活動や都市農村交流、棚田米を使用した純米酒の製造、販売等を通して、地域好循環型社会を構築。		○		○			○					○				○				○	棚田、農産物	○	
80	NPO法人伊万里はちがめプラン	佐賀県伊万里市	平成4年、飲食店のグループが生ごみ資源化研究会を立ち上げ調査や微生物の研究を行い、平成9年に生ごみ増肥化実行委員会を結成。平成12年生ごみ増肥化プラント完成。平成15年にNPO法人化し、平成16年に直売所を開設、生ごみを主に、食資源循環によるまちづくりを展開。		○		○			○								○						生ごみ、廃食油		○

目次

整理 番号	団 体 名	所 在 地	取 組 根 拠	取組部門			分野の組合せ(農山漁村×)																	活用 している 資源	スタートした取組	
				ビ ジ ネ ス	コ ミュ ニ ティ	個 人	農 業	林 業	水 産 業	食 品	ジ ェ ル ・ 鳥 獣	観 光	福 祉	教 育	移 住 ・ 定 住	生 物 多 様 性	環 境	エ ネ ル ギ ー	健 康 ・ 医 療	ス ポ ー ツ	芸術 ・ 文化	歴史 ・ 文化	情報 通信		農 林 水 産 業	そ 他
81	NPO法人雪浦あんぱんね	長崎県西海市	平成27年にNPO法人化。カフェレストラン、ゲストハウス、農園の運営、農泊推進、移住促進、各種イベント、地域情報発信等の地域活性化の取組を展開。		○		○					○		○										景観、自然	○	
82	有限会社シュシュ	長崎県大村市	平成12年、農業交流拠点施設「おおむら夢ファームシュシュ」を開業。6次化による農産加工品の製造・販売、食育体験や収穫体験など豊富なメニューで取組を展開。	○			○			○		○												農林水産物	○	
83	くまもと☆農家ハンター	熊本県宇城市	平成29年に組織を立ち上げ、「地域を災害から守る消防団のように鳥獣害から地域と畑を守る！」を合い言葉に、品目、規模を超え県内の若手農家有志で、住民主体の鳥獣害対策モデルの構築を目指す。		○		○			○	○													農産物、イノシシ	○	
84	ウーマンメイク株式会社	大分県国東市	平成27年に課題の多い農業分野において、新時代は女性が創るという想いを込め女性だけで起業。女性の雇用創出や地元行事に積極的に企画・参加するなど地域活性化にも貢献。	○			○						○											農林水産物	○	
85	株式会社成美	大分県豊後大野市	平成24年個人事業者として開業、平成26年に法人化。地域資源と女性愛で「美味しい笑顔」を創ることで、地元女性の雇用創出や生産者の所得向上など地域活性化に貢献。	○			○			○	○			○										農林水産物、ジビエ	○	
86	有限会社清川ふるさと物産館夢市場	大分県豊後大野市	平成10年、農林業公社から経営移管し、地域活性化を目的に、農産物の直売所及びレストランの運営、加工品の開発、直営農場の運営のほか、移動販売事業や生活支援サービス事業等にも取り組む。	○	○		○			○					○									農産物	○	
87	株式会社くしまアオイファーム	宮崎県串間市	地域特産品の「さつまいも」を活用し、市場ニーズに適合した加工食品の提供、小ぶりさつまいもの輸出により農業者の所得向上及び雇用の場を創出。	○			○			○				○										農林水産物	○	
88	高千穂ムラたび協議会	宮崎県高千穂町	平成22年に協議会を設立し、「観光と連携してムラに生産を創る。」をテーマに、「農業の6次産業化」「食事と宿泊施設の整備」「エコミュージアムによる誘客」の三部門を一体化した新しい農村産業づくりを展開。	○	○		○			○		○												農産物、農村景観	○	
89	NPO法人猫娃おこそ会	鹿児島県南九州市	「いつまでも住みたい魅力あるまち」の実現を目指すため、平成19年に法人化。地元農家と連携した「畑旅(はたたび)」を活動のメインとした「農業観光プロジェクト」等により観光誘致を推進。		○		○					○												農林水産物、古民家・空き家、景観		○
90	株式会社南風ベジファーム	鹿児島県南さつま市	平成28年に株式会社を設立し、農業と福祉を一体化させ、さらに6次化に取り組むことで、多くの人材を雇用することが可能となり、人手不足、所得の向上等、農業と農科の抱える問題を解決し、地域の活性化に貢献。	○			○			○			○											農産物	○	
91	社会福祉法人白鳩会	鹿児島県南大隅町	農福連携で知的障害者の自立支援を図るとともに健康者と障害者が交流できるイベント開催などによる食品販売を通じて、県内外の人々との交流促進により地域活性化に貢献。	○			○			○			○											農林水産物		○
92	宮古島さるかの里	沖縄県宮古島市	地域の自然資源・文化資源を活用し、体験滞在型観光地として地域連携のもと農泊を推進。農家レストランを拠点とした地産地消による地域ならではの料理を伝承し、島野営での郷土料理体験を提供。	○	○		○			○		○												農林水産物、文化、自然		○
93	社会福祉法人みやこ福祉会	沖縄県宮古島市	野営の周年栽培施設等の環境を整備し、障害者の就労の場を確保、安定雇用を実現。	○			○						○											農林水産物		○
				64	55	0	82	9	5	56	7	40	21	21	7	2	1	4	5	2	3	2	6		56	44